

消耗品・別売品のお買い求めについて

中せん・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)6ヵ月～1年を目安にご確認ください。

破損や汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ(下記「連絡先」参照)

品名
中せん*(パッキンつき)
パッキン大
パッキン小
ステンレスポトル用洗剤TAA-A100

*製品の色柄により異なります。

仕様

サイズ	1.2タイプ	1.6タイプ	2.0タイプ
実容量	1.2L	1.6L	2.0L
保温効力	10時間	67度以上	72度以上
	24時間	48度以上	54度以上
保冷効力(10時間)	10度以下	9度以下	8度以下
外形寸法*(幅×奥行×高さ)	12.7×16.3×20.0cm	12.7×16.3×23.8cm	12.7×16.3×27.5cm
質量*	0.61kg	0.69kg	0.76kg

*おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから24時間及び10時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから10時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名
- ②品番
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)
- ④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

ステンレスポット プッシュレバータイプ

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

連絡先 **タイガー魔法瓶株式会社** 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

有料でご案内させていただいております。 **TEL (06) 6906-2121**

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。やけど・けがなどのおそれ。



傾けたり、横転させない。内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)、衝撃を加えない。やけど・破損・内容物がこぼれるおそれ。

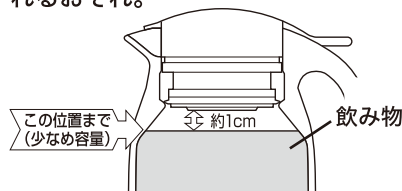


コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。やけど・変形・変色の原因。

自動車の中では使わない。やけど・汚れの原因。

保温(保冷)性能が低下したときは使わない。熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

飲み物の量は、図の位置までにする。入れすぎると、プッシュレバーがたくなったり、中せんをしめるときにあふれて、やけどや内容物がこぼれるおそれ。



飲み物の保温・保冷以外に使わない。

中せんは、確実に閉める。飲み物を注ぐときは、必ず中せんが確実にセットされていることを確認する。

中せんが落下して、内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

飲み物を注ぐときは、本体を急に傾けない。

飲み物が勢いよく出て、やけどなどの原因。

注ぎ口に顔を近づけた状態や、本体を傾けた状態で、プッシュレバーを押さない。

飲み物や水蒸気が勢いよく出て、やけどのおそれ。

肩部分に熱いやかんをあてない。転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



中せんを取りはずすときは、いったんプッシュレバーを押して、蒸気を逃がしてから取りはずす。

飲み物や蒸気が勢いよく出て、やけどなどの原因。

ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。

内圧が上がり、中せんがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、やけどなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。腐敗・変質の原因。

また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、中せんがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、もれてやけどのおそれ。麦茶・紅茶などを入れる場合は、充分こしてから入れる。

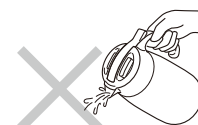
ななめに傾けたり、プッシュレバーを押したまま、持ち運びしない。

内容物がもれて、やけどのおそれ。



まっすぐ持ち運ぶ

プッシュレバー



ななめに傾けた状態



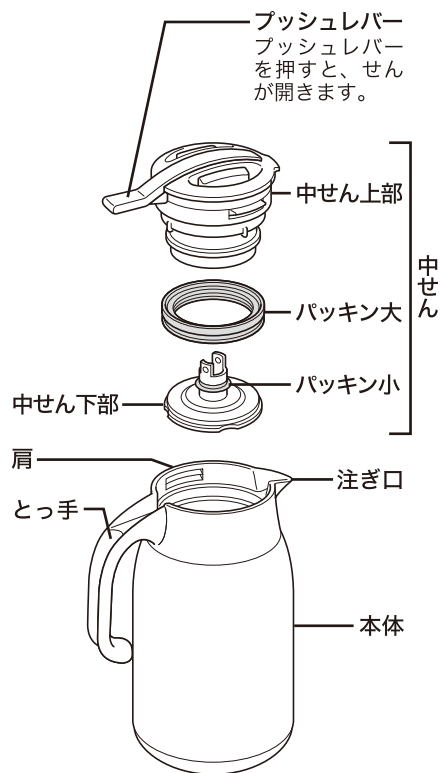
プッシュレバーを押した状態

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

各部のなまえとはたらき

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。



使いかた

1 中せんをはずす。

はじめて使うとき

本体内側・肩・中せんを洗う。
→P.6

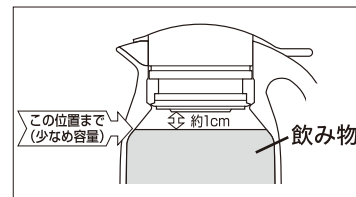


2 保温 (保冷) 効果を高めたいときは、少量の熱湯 (冷水) を入れ、1～2分予熱 (予冷) する。

予熱 (予冷) 後は、お湯 (水) をする。

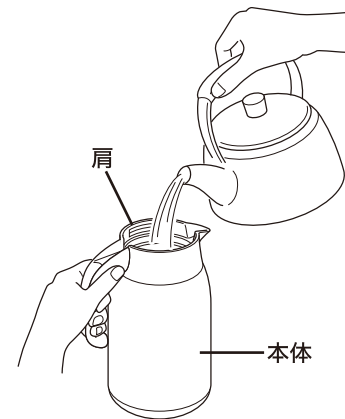
3 熱い (冷たい) 飲み物を入れる。

●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。



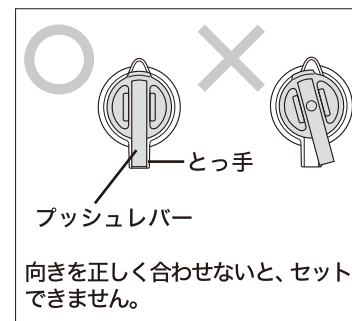
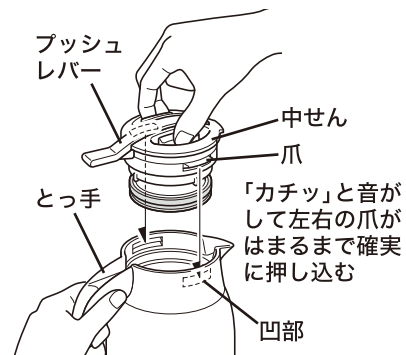
●氷を入れるときは、先に飲み物を入れ、小さく砕いた氷を、ポットを傾けてすべらせるように入れる。(大きな氷を押し込まない。)

●本体にはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどをおすすめします。(熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。)



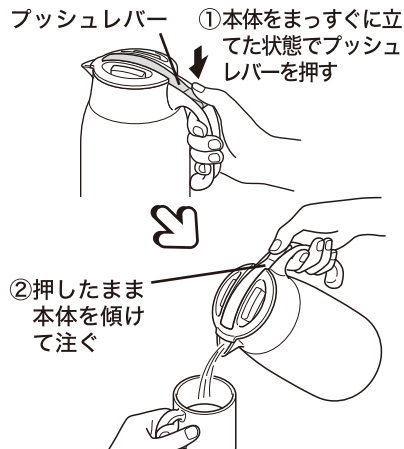
4 中せんを閉める。

プッシュレバーととっ手の向きを合わせて、確実に閉める。



5 プッシュレバーを押してから本体を傾けて、飲み物を注ぐ。

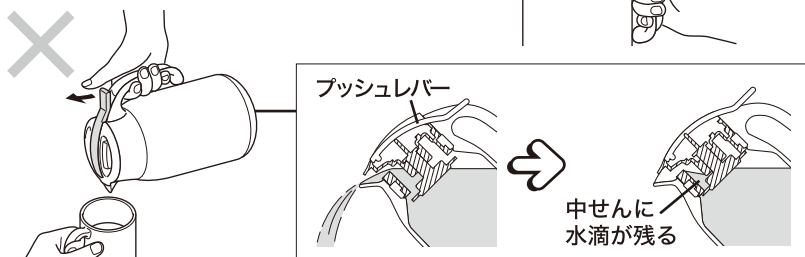
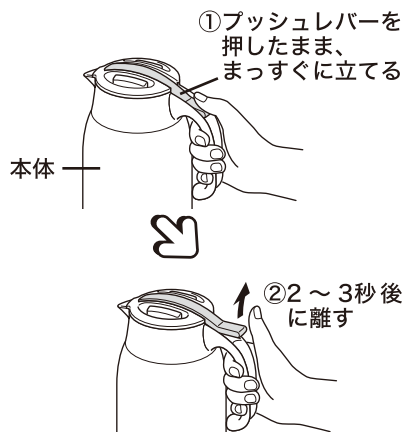
飲み物がいっぱい入っているときは、少し傾けただけで出るので、カップなどを注ぎ口に近づける。



6 注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後にプッシュレバーを離す。

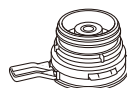
ご注意

本体を傾けた状態でプッシュレバーを離さない。中せんの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。



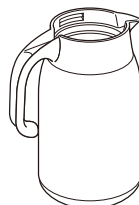
お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。



中せん上部

- ①洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いはしない。)
- ②乾いた布で洗剤分をふき取り、乾燥させる。



本体



パッキン小
中せん下部
(はずして洗う
→P.7)

- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
- ②本体は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(すぐにふかないと、シミや跡がついたり、サビの原因。)
- ③水分を充分に振り切り、乾燥させる。



パッキン大
(はずして洗う→P.7)

においを防ぐために

ご使用前や、お湯以外のもの(お茶や糖分を含んだものなど)を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。

ご注意

- 本体のつけおき洗いをしない。
- 中せん上部の丸洗いをしない。
- シンナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- 中せん・パッキンは必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

中せん・パッキンのつけかた (はずしかた)

中せん

〈はずしかた〉

②左にまわす

③はずす

〈つけかた〉
図の向きに差し込み、
まわして取りつける

②差し込む

③右にまわして
取りつける

空気抜きを
プッシュレバー側
して取りつける。

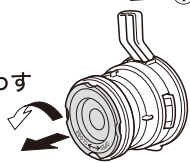
取りつけた状態

空気抜き

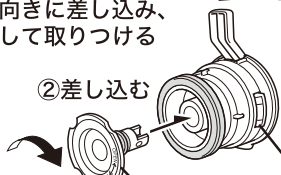
- 正しく取りつけないと、
本体を傾けたときに漏れる
量が多くなり、やけどのおそれ。



①プッシュ
レバーを
押したまま
にする



①プッシュ
レバーを
押したまま
にする



パッキン大

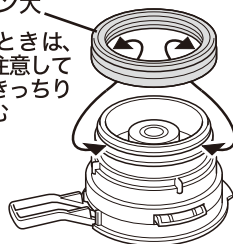
断面図

パッキン大



パッキン大

つけるときは、
方向に注意して
奥まできっちり
はめ込む

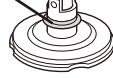


パッキン小

パッキン小がはずれたときは、
確実につける。

取付状態

パッキン小



本体内側に汚れが目立ってきたときは…

●「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をおすすめします。

- ①クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③充分に乾燥させる。

●「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。ステンレスボトル用洗剤TAA-A100(別売品)のご使用をお勧めします。

品番：TAA-A100 10g×4包入り

お買い求めは、「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。→裏表紙

不具合が生じたときは

こんなとき

飲み物が出ない、
出にくい。

飲み物がもれる。

保温(保冷)が効
いていない。

中せん下部がはま
らない(落ちる)。

本体内側や中せん
から異臭がする。

プラスチック部分に
線状や波状のよう
に見える箇所がある。

ご確認ください

中せん・パッキンが確実にセ
ットされていますか。

中せん・パッキンが確実にセ
ットされていますか。

中せん・パッキンが破損して
いませんか。

飲み物を入れすぎていませんか。

中せんの内部に飲み物が残っ
ていませんか。

ポットの性能を保つため、中せんに空気抜きを開けています。プッシュレバーを押さずに傾けても、注ぎ口から飲み物がもれることがありますのでご注意ください。

食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→P.6

落としたり、はげしい振動を加えていませんか。→P.1

中せん・パッキンが確実にセ
ットされていますか。

熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。

内容物の量が少なくありませんか。内容物の量が少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

本体をつけおき洗いしていませんか。→P.6

本体がへこんでいませんか。

お買い上げの販売店にご相談ください。

寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

中せん下部は確実にセットされ
ていますか。

確実にセットする。→P.7

中せん下部または中せん下部の差
し込み部が破損していませんか。

破損しているときは、お買い求
めの上、交換する。→裏表紙

汚れが付着していたり、飲み物を長
時間入れたままにいませんか。

お手入れする。→P.6・7

樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。

直しかた

確実にセットする。→P.4・7

確実にセットする。→P.4・7

破損しているときは、お買い求
めの上、交換する。→裏表紙

入れすぎないようにする。→P.1・4

飲み物を注いだ後は、本体をまっ
すぐに立ててから、2～3秒後に
プッシュレバーを離す。→P.5

ポットの性能を保つため、中せんに空気抜きを開けています。プッシュレバーを押さずに傾けても、注ぎ口から飲み物がもれることがありますのでご注意ください。

食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→P.6

落としたり、はげしい振動を加えていませんか。→P.1

確実にセットする。→P.4・7

熱い(冷たい)飲み物を入れる。

内容物の量が少なくありませんか。内容物の量が少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

本体をつけおき洗いしていませんか。→P.6

お買い上げの販売店にご相談ください。

寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。

確実にセットする。→P.7

破損しているときは、お買い求
めの上、交換する。→裏表紙

お手入れする。→P.6・7

樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。